シマエナガ通信　第 13 号
感染症レクチャー「高齢者の肺炎マネージメントとその周辺」

当院では毎月感染症コンサルタントの岸田直樹先生（Sapporo Medical Academy代表理事）を外部講師としてお招きして、医師やスタッフ向けにレクチャーを開催しています。



岸田直樹先生による感染症レクチャーの様子

主な対象は初期研修医ですが、実習に来ている医学生や薬学生なども参加でき、毎回面白く分かりやすいレクチャーをしていただいています。10月23日は「誤嚥性肺炎へのアプローチ」についてでした。内容は誤嚥の背景やメカニズム、Aspiration syndromeの３病態（誤嚥性肺臓炎、誤嚥性肺炎、異物による窒息）、抗菌薬治療の考え方などでした。なかでも、化学性肺臓炎としての収束が期待できる場合の抗菌薬投与の要否、嫌気性菌カバーの是非や考え方について具体的事例や文献に基づきレクチャーしていただき、出席した研修医と薬学実習生はもちろん、私自身も大変勉強になりました。

岸田先生が感染症コンサルタントとして当院に来られるようになってから10年以上経過し、当院の感染対策および感染症治療は明らかに向上しました。COVID-19によるパンデミックで感染症の脅威が再認識されたところですが、10数年前は臨床感染症学を系統立って学ぶ機会はほとんどなく、抗菌薬の選択は診療科ごとあるいは個々の医師の判断でなされていることが多かったように思います。私も岸田先生のレクチャーのおかげで、随分と感染症の知識が整理され、実際の臨床に還元できていると感じています。

岸田先生の講義はユニークなスライドを使って、研修医や学生と双方向的に繰り広げられます。印象的なクリニカルパールも多数あり、一部を紹介すると、

「覚えるべき抗菌薬は決まっている！」

「味のある抗菌薬は残す。蔵にしまっておけ！！！」

「よくわからない〇〇は敗血症を疑い、血培採取を！」

（〇〇には、①意識障害・せん妄、②血圧低下、③低血糖、④代謝性アシドーシス、⑤肝障害、⑥心不全、⑦腎不全、⑧低体温、⑨白血球増多もしくは減少、⑩CRP増多、などが当てはまります）。

講義内容は常にアップデートされているので、経験を積んだドクターにも参加していただきたい内容です。次回も楽しみにしています。（高橋）